

## 所外研修①「発表の技法とモラルⅠ」

所外研修の第1回は、沖縄県教育センター IT 教育センターにおける「発表の技法とモラルⅠ」「著作権と肖像権について」についての研修でした。

平成27年度沖縄県教育センター後期研究員の一部約40名と共に受講となり、冒頭、仲地研究主事は「今日は島尻からも研究生が参加しています。島尻教育研究所も同様な報告会がありますか」と声をかけていただきました。

研修では、実践的なパワーポイントの表現の仕方やより効果的に訴えるための手法とグラフの使い方や色の付け方、字の太さ等見る人の立場に立って作成することの大事さを学びました。

後半の「著作権と肖像権について」は誰の作品であっても著作権が発生することや届けがなくても著作権は発生することなど、学校現場では著作権について配慮を要することを学びました。

また、研究授業における肖像権に配慮した児童生徒の写真の撮り方、撮った写真の加工の仕方などをご指導いただき、研究報告会のプレゼン作成に向けて実のある研修になりました。

## 【講座の概要】

## 「プレゼンテーションの技法」

## 情報モラルとは

高度情報通信社会の中で適正な活動を行うための基本の考え方と態度

## プレゼンテーションとは

聞いている人に対して情報などを提示して説明すること

## ①スライド作成

- ・簡潔なタイトル
- ・文字の色と背景のバランス
- ・文字は大きく
- ・文字形（ゴシック）

## ②効果的なスライド作成

- ・1枚のスライドに1つの内容
- ・視覚化（グラフや表）
- ・Cue の技法

## ③良いプレゼンテーションの発表とは

- ・大きな声
- ・ゆっくり
- ・言い切る
- ・間をとる
- ・笑顔で話す
- ・聞き手を意識
- ・ジェスチャー

- 目的の明確化
- 聞き手に対する配慮

## 「著作権や画像処理等について」

## ◇著作権について

- ・著作権とは
- ・著作権保護の例外

## ◇肖像権とは

## ◇著作権・肖像権を侵害しないために

- ・報告書等で顔写真や画像を使用する際の注意点

## ◇実践

- ・顔写真の修正法
- ・取り込んだ文字が見つからない際の修正法



写真1 IT教育センター前にて



写真2 研修中①



写真3 研修中②

## 教育研究員の感想（研修日誌から）

情報というのは、知らない間に漏れていくけれど、それを防ぐ方法を自分自身で知っておくことが大事だと分かりました。パワーポイントの演習では実演をしながら技術を獲得できたので楽しみながら学べました。以前情報モラルの研修をうけた時に、効果的なスライド作成の方法で、『PREP法：Point(結論) Reason(理由) Example(具体化) Point(結論)』を習ったことがあります。今日の演習では出てこなかったのですが、ふと頭に浮かびました。そしてこの方法が島尻教育研究所の発表方法なのだ気がきました。伝えたいことを文にするのと、視覚を通してアピールするのは自分主張のみではだめだと言うこと、焦点化してまとめる訓練もこれから必要だと感じました。これからの様々な感想や話をする経験から、発表時へつながるように頑張っていきたいです。また、著作権や肖像権に関しては、心当たることが多々あり、無意識の怖さを感じました。情報の共有化もとても大切に扱っていかねばと思います。

（上原亜矢）

教育センターにおける所外研修では、プレゼンをする際に必要なスライドの作り方の基本的なことを教えていただきました。大切な3要素として、準備・表現・ロジックについて学びました。準備では、絵や写真は必要性を考えて使う（余計な絵や写真は注意をそらす）ことや視覚化する（表よりグラフの方が見やすい）、絵と短い言葉で表すのが効果的であることが分かりました。また、好感を与える表現の仕方として、大きな声でゆっくりと話す、言葉を言い切る、間を取る、笑顔で、アイコンタクト、ジェスチャーなどたくさんの技法を学ぶことができ、とてもためになりました。報告会はまだまだ先ではありますが、今日学んだことを頭に入れて研究に取り組んでいきたいと思いました。

著作権については、知らなかったことが多くて、今までのやり方を改めていかなければならないと感じました。大変勉強になりました。

今日学んだことをもとに明日からまたがんばります。

（比嘉頼子）

前半は、プレゼンテーションの方法ということで講義を受けました。今まで何度もパワーポイントを活用して授業や朝会などを行ってきましたが、みる側への配慮が足りなかったと感じました。例えば、文字の書体、大きさです。また、どれだけ簡潔に書くことができるかやグラフの有用性について改めて理解した。一枚一枚にタイトルをつけてわかりやすくする、アイコンタクトや聞いている側のうなずきなど実践的な技術についてわかりました。今回は、急に発表ということで、内容もまとまらないまま思いつきでの発表だったので難しかったです。プレゼンでは、失敗を恐れてびくびくするより、伝えたい内容が相手に少しでも伝わるよう、余裕をもって準備、練習したいと思います。

後半は、情報モラルについての研修でした。著作権や肖像権など聞いたことがあったのですが、法律として細かく定義がされていて、今までは、教育で使うものはだいたい許されるものだと思っていました。教員がしっかり情報モラルについて理解し、これから高度情報化社会の中で生きていく子ども達へ伝えていく必要があると感じました。

（久高友弥）

発表の三要素は「準備」「表現」「明快なロジック」であることやこれだけは絶対に守ってほしいこととして、文字のポイントや書体、背景に写真を貼り付けないなど最低限度のモラルを知ることができた。その中でも、発表時の心構えとして「うなずいている人を見る、一語一句間違えないように話そうとしないで、自分の言葉で伝える」ことが大切だということをお聞きし、安心しました。

実践の中で、4つのスライドをつくる作業がありましたが、相手に分かりやすく作成することの難しさを痛感させられました。プレゼンテーションと報告発表の違いを理解し、「何を伝えたいのか」という目的の明確化と、「何を知りたいのか」という聞き手に対し配慮することができるように、作成にあたりたいと思います。

著作権については、アニメのキャラクターのイラストや子ども達の作品等を使用することも著作権にかかると知り、これまで意識していなかったことに気づかされました。自分が作ったものは自分で確認することを忘れずに情報モラルを守ります。

（富名腰由紀）

研究報告会で使うプレゼンの6つのポイントを教えてもらいました。その中でスライドは原稿ではないので何を伝えるのかを図や表などで表し、聞き終わったあとに何が言いたかったのかが残るプレゼンをしてくださいとお話がありました。スライド4枚でプレゼンがありましたが文字を箇条書きで表すことができませんでした。次に著作権と肖像権についての講話がありました。最近でできた話のようにあるが、昔からテープなどあって著作権があったが、テープは劣化がくるのでそこまで気にしなくていい環境だったか、ITが発展することで永久に保存することが可能になったので著作権と肖像権がすごく重要になったと中村指導主事の話聞いてなるほどと思いました。学校等における授業での使い方を具体的に教えてもらいましたが、うちあたいることがあって知っているつもりでも改めて確認することが多かったです。あと、引用の件でも羽根田先生が話されていた括弧の使いかたも紹介されていました。

すべてが著作権で使用不可ではなくクリエイティブコモンズもあり、取り扱うときはしっかり見極めが必要だと思いました。

（波照間生子）